

第4回水戸地区MCメディカルラリーに参加しました

10月22日、茨城県庁敷地内を会場としたメディカルラリーに、市消防本部の救急救命士と常陸大宮済生会病院の医師・看護師が救急医療チームを組んで参加しました。県内から13チームが参加し、救急医療の更なるレベルアップを図りました。

メディカルラリーとは

医師、看護師、救急救命士、救急隊員がチームを組み、シナリオに添った演技を行う特殊メーキャップを施した模擬患者に対し、限られた時間内にどれだけ迅速、的確な観察、必要な救命処置を行うことができるか判定による評価で競う技能コンテストのこと。



大規模災害対応野営訓練を実施しました

11月15日から17日の3日間にわたり、大規模災害が発生したとの想定で、野外におけるテント生活、非常食の摂取や仮眠等を経験する訓練を実施しました。訓練日は、氷点下に迫る寒さのなか、隊員はエアータントの設営から開始。図上訓練や危険予知訓練等を実施し、テント内で寝袋を使い仮眠をとるなど、実践さながらの訓練となりました。



119番通報について①

局番なしで「119」をダイヤルします。市内の一般の家庭電話や公衆電話から通報した場合、市消防本部の通信指令室につながります。

通報を受けた指令員は「はい、消防署です。火災ですか、救急ですか」とたずねます。「火災」か「救急」か伝えてください。

実際に火災に見舞われた時や家族がけがや急病の時、気が動転し、落ち着いて通報ができなくなることがあります。しかしながら、慌てて一方的に話すと、正確に伝わらない上、時間もかかります。自分だけで一方的に話そうとせず、落ち着いて、聞かれたことに正確に答えていくのが良い方法です。ただし、通報している場所にまで煙や火が拡大するなど自分の身に危険が迫っている場合は、すぐ避難しましょう。

消防本部からの お知らせ

年末年始のこの時期は、救急車の出動が一年の中で最も多くなる時期です。体調管理や事故防止に努め、新たな年をお迎えください。

平成23年度防火標語
「消したはず 決めつけないで もう一度」